

札幌の 知的伝統と 憲法9条論

いしかわ けんじ
石川健治さん
東京大学法学部教授
憲法講演会



1962年生まれ 東大教授
「立憲デモクラシーの会」* 呼びかけ人。

著書
『自由と特権の距離
カール・シュミット「制度体保障」論・再考』
(日本評論社)

編著
『学問/政治/憲法 連環と緊張』(岩波書店)
『「改憲」の論点』(集英社新書)
『憲法を学問する』(有楽館) など

*2014年発足。日本国憲法の解釈を変更することによって集団的自衛権の内閣による憲法解釈変更を行った安倍内閣に対抗することを目的として活動されている。呼びかけ人には法学や政治学のみならず、人文科学や自然科学の分野からも学者が名を連ねている。

Wikipediaより

恵庭事件、長沼裁判など憲法9条にかかわる重要な裁判がおこなわれた北海道。

東京大学で憲法学の教鞭をとる石川健治先生を、この北海道、札幌の地に招き、立憲主義と民主主義との関係、財政の仕組みから見た9条改憲論、日本国憲法の平和主義の意味などについてふれながら、憲法9条を堅持することの今日的意義について縦横無尽に語っていただきます。

ぜひ、多くの方にご参加いただければと願っています。

勝谷太治司教
からの
メッセージ

石川先生には、最近二度にわたり司教総会での研修会で、憲法と天皇制についてご講演いただきました。めったにない機会ですので、ぜひ聞きに来てくださるようおすすめいたします。

日時：2019年 **6月22日(土)**
13:30～16:00

会場：カトリックセンター
1階 大会議室

札幌市中央区北1条東6丁目
地下鉄東西線「バスセンター前」下車
10番出口より徒歩3分 旧中央体育館向かい



入場無料

主催：札幌地区カトリック正義と平和協議会

後援：さっぽろ自由学校『遊』、憲法応援団 (前札幌市長上田文雄氏ら北海道の弁護士有志によるグループ)

お問合せ 札幌地区正義と平和協議会 松永 武 864-5526

